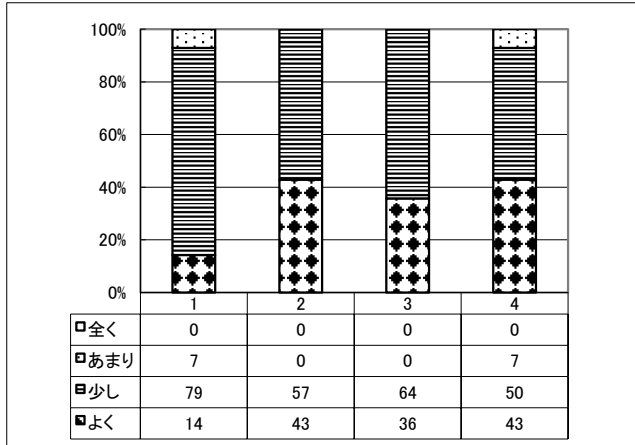


## 平成30年度 自己評価(教職員) 結果・考察

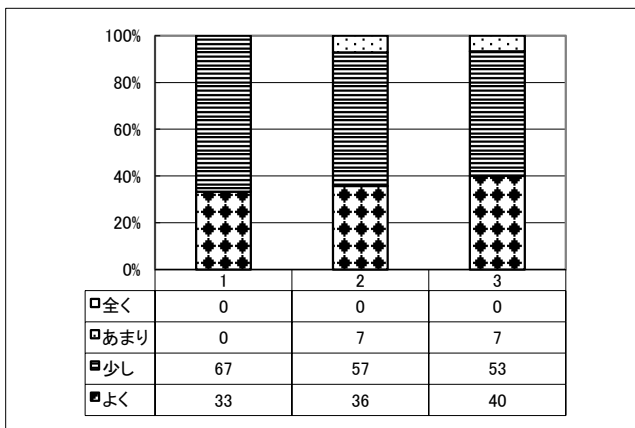
### ◎ 確かな学力



- ①子どもが、自ら進んで学習課題を見つけ、自分の力で解決できるような学習計画と指導にあたっている。
- ②子どもが、友達の話の聞いたり、自分の思ったことや考えたことを伝えたりしながら学習に取り組めるように、指導・支援を行っている。
- ③子どもが、発達段階に応じた系統的な学びで基礎的な学力が身につくように、学習計画を立て指導を行っている。
- ④子どもたちの学びが計画的に積み重ねられていくように、職員は一体となって取り組んでいる。

全体的に「当てはまる」という評価である。②③④は、「よく当てはまる」が40%前後と高くなっているが、①は「よく」が14%と、他に比べて低い。児童が自ら学習課題を見つけ、自主的・主体的に解決できるような手立てをさらに講じる必要がある。そのためにも、②③④のコミュニケーション能力や系統的な学び、職員の連携を今後も意識し、取り組んでいくことが大切である。

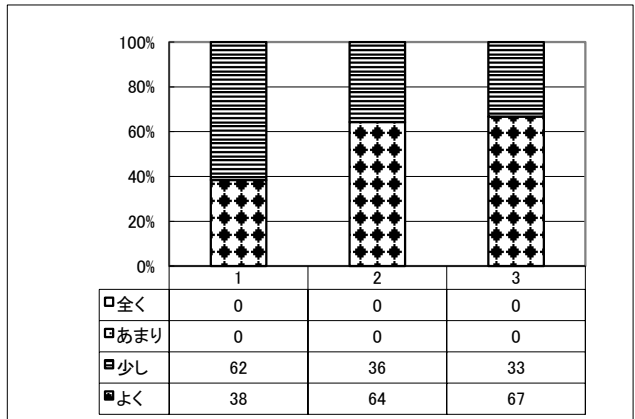
### ◎ 豊かな心



- ①子どもが、毎日楽しく登校できるように、指導・支援や環境設定を行っている。
- ②子どもが、お互いに助け合い、協力し合って学習や活動ができるように、学習計画を立て指導を行っている。
- ③子どもの学年や状況に応じ、道徳の学習を進め、人権を尊重する精神を育む指導を行っている。

どの項目も、ほぼ、「当てはまる」という評価であり、30~40%が「よく」と答えている。道徳の学習はもちろんのこと、各教科や日々の学習において、児童が安心して登校できるように支援し、環境を整えていることがうかがえる。数%ながら「あまり」という評価も見られるので、今後もさらに職員間の情報共有を図り、連携して指導・支援を行っていく。これらの項目への意識が高まることによりいじめの未然防止にもつながると考えるので、大事に取り組んでいきたい。

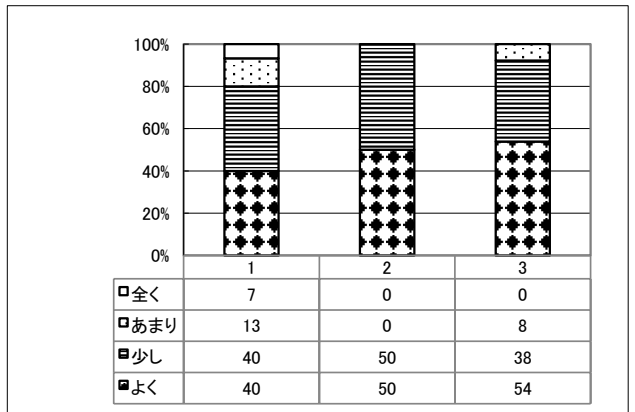
### ◎ 健やかな体



- ①子どもが、体育の授業で学習カードを用いて進んで学習したり、外で遊んだりして、運動に親しめるような、指導・支援を行っている。
- ②くすのき週間、歯みがき週間、学校保健委員会等の活動に参加し、健康的な生活がおくれるよう、指導・支援、環境設定を行っている。
- ③子どもが、健康や成長のために、栄養のバランスを考えながら食事ができるように、指導・支援を行っている。

全員が「当てはまる」と答えており、高い評価である。特に、②③については、60%以上が「よく」と回答している。運動や歯磨き、食育等、健康に対する意識を高め、児童が自ら健やかな体を育てていけるよう、日々の声かけや取り組みを今後も継続していきたい。

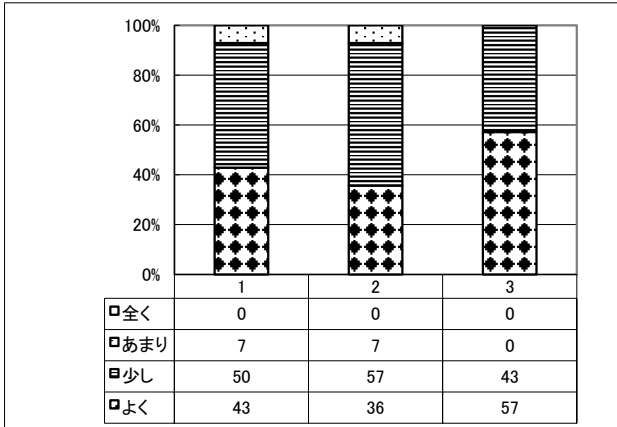
### ◎ 児童指導



- ①子どもが、元気よく場に応じた挨拶ができるように指導を行っている。
- ②生活や学習などの相談がある場合に、早期発見・早期解決のための対応をしている。
- ③3か月毎にステップアップカードで学習や生活を振り返らせ、子どもに自分を見つめて次の目標を設定してよりよい生活につなげられるように取り組んでいる。

どの項目も、ほぼ全員が「当てはまる」と答えており、40~50%が「よく」と答えている。しかし、①③の項目では、10%以上が「あまり」と答えている。挨拶については、生活目標でも掲げ、繰り返し指導しているが、今後も組織的な取り組みを具体的に考えていきたい。ステップアップカードについては、次の目標を意識づけしていくことを考えていく必要がある。

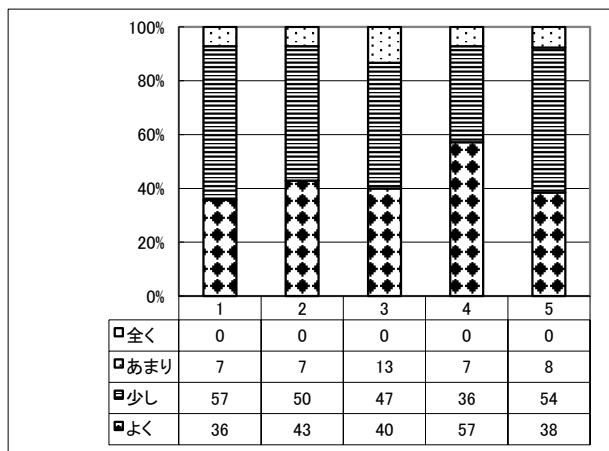
◎ 特別支援教育



- ① 備品・掲示物等を整理し、教室の学習環境を整えている。
- ② だれもが安心して学校生活を送れるように個に応じた支援をしている。
- ③ 子どもたちの様々なケースに対して、チームで対応して解決している。

③のチームで対応して解決している認識ではあるが、今後も、学年だけでなく、児童支援専任と連携をとって支援していく。また、特別支援コーディネーターを中心に、支援の形を考え、充実させていく。①②の項目では、「あまり」が教%となっている。教室の学習環境については、子どもが見通しをもち、落ち着いて学習できるように統一していく。

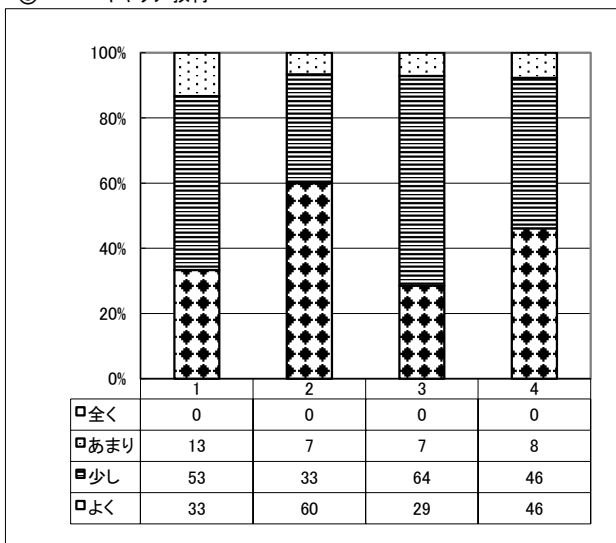
◎ 地域連携



- ① 地域の行事（夏祭りやチルドレンサークル、自治会の行事など）に参加できるように、子どもに周知している。
- ② 保護者や地域の方々と関わりをもって、「開かれた学校運営」になるように取り組んでいる。
- ③ 子どもたちの安全を守るために、地域や保護者との連携を深めている。
- ④ メール配信等緊急時の連絡システムを確立し、整備を進めている。
- ⑤ 情報発信を密にし、家庭・地域からの意見を集約し反映している。

①の項目については、港南区制50周年を迎える年として、さらに子どもが地域行事への関心を高め、主体的に参加できるような情報発信を地域と連携して進めていきたい。「よく」と全職員が回答できるような体制を目指す。③の項目については、これから改善すべき点であると考えている。学区内の安全については、地域や関係各機関からの情報も参考にして、本校としての地域と連携した安全指導のあり方を確立していきたい。

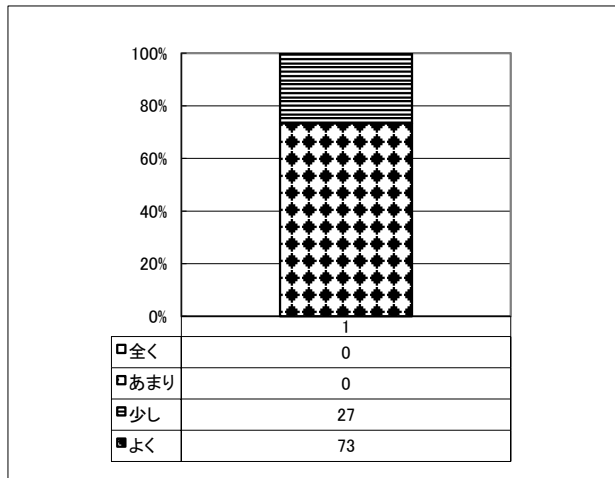
◎ キャリア教育



- ① 子どもが、様々なキャリアをもつ人々から学んで、知識理解を深められるように、指導を行っている。
- ② 学年の発達に応じた「『食』の学び」を通して、健やかな体と豊かな心が育つよう、学習計画を立て、指導を行っている。
- ③ 地域や様々な人との交流を通して、自分たちが住むまちの良さや伝統を感じられるように、学習計画を立て、指導を行っている。
- ④ 異学年交流（たてわり活動、幼保小連携、小中連携など）を通して、異学年の子どもたちと進んでコミュニケーションがとれるように、環境設定をし、指導にあたっている。

①③については、肯定的な回答がほとんどではあるが「少し」という控えめな回答の割合が多い。本校の特色である「出前授業」や、地域の材を活用した学習は、各学年とも計画的に行っている。しかし、関わった方の生き方や仕事への思いにふれる場面を「キャリア」教育と関連付けて指導することを、職員側があまり意識していなかったのではないと思われる。そのため、「出前授業」などでの子どもの育ちが、日常の言動を通じた具体的な姿としてそれほど表れてはいない。「出前授業」や地域の材を活用した学習の、事前、事後の指導を「キャリア教育」の視点から考え、実践していきたい。

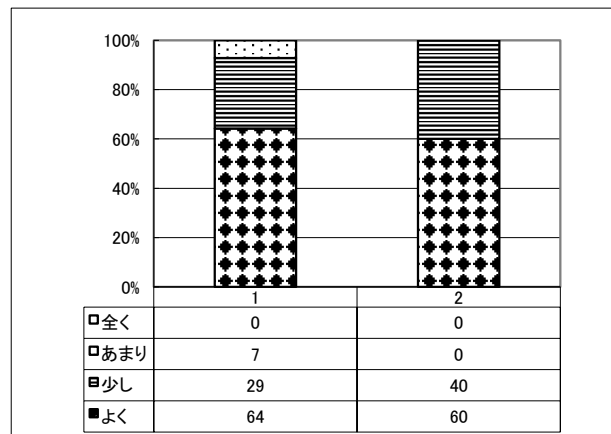
◎ いじめへの対応



①いじめ基本方針に則り、定期的にアンケート(学校生活について 年2回、いじめについて 年2回)を実施するなどして、いじめの早期発見・早期対応に努めている。

定期的にアンケートを実施し、組織的に対応することを心がけてきた。引き続き、いじめの早期発見・早期対応に努めていきたい。

◎ 人材育成・組織運営

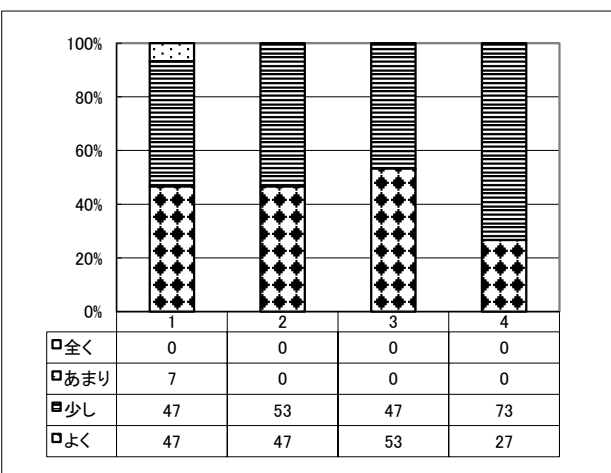


①各研修やメンターチームの取組などを通し、自己の研鑽に努めている。

②教職員は、学び合う姿勢を大切にして研修している。

概ね高い評価である。研修が、各々の職務の実践に密につながるよう、研修の目的を明確に、内容もさらに充実させて、主体的に取り組んでいきたい。

◎ 危機管理



①学校は、安全に関する組織が適切に生まれ、危機に対する対応ができています。

②学校は、施設・設備について日常的な点検や管理が、行われている。

③学校は、緊急情報を素早く確実に発信できる体制が、整っている。

④学校は、危機対応マニュアルを検証し危機管理のために、地域や保護者との連携を深めている。

肯定的な評価ではあるが、どの項目も「少し」が半数、または半数以上を占めている点を見逃してはならない。危機管理は、組織として常に完璧を目指さなければならないものである。危機での対応がマニュアルだけのものになってはいないか、現実に即しているのか、さらに検証を重ねる必要があると考える。